

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

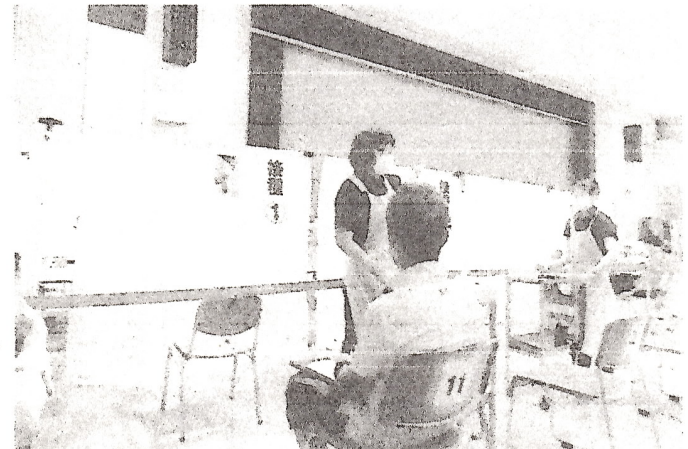
4月中旬に郵送で申し込んだ65歳以上の新型コロナウイルスワクチン接種の第2回目の接種が7月中旬に完了した。感染対策に十分ではない

との情報だが不思議な安堵感だ。接種会場も穏やかで、会場スタッフらの楽しい会話が緊張になりがちな会場を和ませる。1回目・2回目の接種も日曜日が接種日。休日を返上して接種を担当したスタッフに感謝しかない。ワクチン不足の情報で混乱しているが、希望者全員の接種に期待したい。

21日から東京オリンピックの競技がスタート、きょうは開会式だ。自国開催に期待膨らむ選手達にテレビの前でエールを送り続けたいと思う。選手を含む関係者から感染状況が多

く伝わってくる。何とか閉会式まで無事終了する事を願うばかりだ。梅雨明けしてから酷暑が続く。花王が在日外国人に日本の夏について意識調査を行ったところ、暑いイメージのある中東・アフリカ出身者の8割が「出

身国よりも暑い」と回答。気温だけなら日本より高いところは数多くあるだろうが、特有の湿度が加わり、母国以上の暑さを感じるらしい。世界から集まる選手や大会関係者には、万全な暑さ対策を



コロナ接種会場で活躍するスタッフ。緊張の連続で体調管理が心配になってしまう

望みたいものだ。日本語の中に「思いやり」という言葉があるが、ぴったり当てはまる外国語が見当たらない。欧米人が自己主張を重視するのに対して、日本人は他者との協調を大切にすると新

に外国在住の友人から「善光寺からの映像で、長野の人は必ず笑顔で会釈する。豊かな過ごしやすい地域だと強烈な印象を持った。日本に行ったら長野にはぜひ立ち寄りたい」との話が、今でも鮮明

にある。「真砂なす数なき星の真の中に吾に向ひて光る星あり」コロナ禍で不安ばかりが渦巻いているが、自分を見つめているような星を探すのも良いのだろう。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)

## 自国開催のオリンピックに熱い声援を送ろう

すでにオリンピックはスタートしたのだ。外国から訪れる皆さんに思いやりを持って迎えるのも日本人の責務だと考え「思いやり」ある場面を多く世界に発信してほしいと願ってしまふ。正岡子規が美しい星空を詠んだ歌